

工夫しよう!かしこい生活

～お金の上手な使い方を考える～

(総授業時数:18時間)

実施学年、教科など

第5学年 家庭 (単元名:工夫しよう!かしこい生活)

単元(題材)の目標

- ①身の回りの整理整頓に関心を持ち、工夫して整理整頓をし、不用品の活用の仕方を工夫できるようにする。
- ②身の回りの清掃に関心を持ち、汚れや場に応じた清掃を工夫することができるようにする。
- ③お金の使い方の工夫や問題点について自分の課題を持ち、これからのお金の使い方について考える。

学習の評価

- ①整理整頓や掃除、物の使い方や買い方に関心を持ち、進んで学習をしたか。(関心・意欲・態度)
- ②身の回りを快適に整えたり、地域・環境に配慮した生活の仕方を工夫したりしたか。(創意工夫)
- ③身の回りの整理整頓や掃除ができたか。また、計画的で賢い物の使い方や買い方ができたか。(技能)
- ④整理整頓、掃除の手順、不用品の活用方法、計画的で賢い物の使い方や買い方を理解したか。(知識・理解)

展開の特色

本題材は、自分の消費生活に目を向けさせ、健全な金銭感覚を養い、一人の消費者としてより良い生活を実践できる児童を育てることをねらいとしている。

題材全体を通して、児童それぞれに自分の生活を振り返らせ、自分の課題としてしっかり考えさせていきたい。そして、整理整頓、掃除、不用品の活用方法(リデュース、リユース、リサイクルなど)や、ごみの始末の仕方、賢い買い物の仕方について、学習したことを生かした家庭での実践計画を立てさせ、保護者の協力を得ながら実践へとつなげていきたい。その際に、保護者からコメントをもらったり、実践結果を発表し合ったりすることで、児童の意欲を高め、実践の継続化を図りたい。

買い物の仕方については特に時間をかけて学習を行い、お金や労働の尊さを考えさせたり、計画的なお金の使い方、商品の選び方、支払い方を理解させたりすることで、健全な金銭感覚や賢い消費者意識を養っていきたい。

本時では、11月のカレンダーにそったすごろく形式のおこづかいゲームを行っていく。1か月の間に、実際にお金を使うであろう場面を想像させ、おこづかいをどう使うかの模擬体験を行う。その際に、1か月を見通したおこづかいの使い方を意識させていきたい。そして、おこづかいの使い方とその理由について意見交換しながら、お金の使い方について考えていく。本学級の児童の中には人前での発表が得意ではない子もいるので、発表ポイントを活用することで、発表やゲームへの意欲を高めるようにしたい。最後に、自分のお金の使い方を振り返り、上手なお金の使い方について考えることで、実生活に生かせるようにしたい。

実際に11月には、本時で考えたことを生かしておこづかい帳をつけてみる。その際に、計画的にお金が使えよう、事前に1か月のお金の使い方を計画させる。そして、11月終了時には1か月の実践を振り返り、お金を計画的に使えたかどうか、これまでの金銭の使い方を考えたり、工夫したりした点を話し合い、今後のお金の使い方を考えることで、上手なお金の使い方を身につけさせていきたい。

入門ガイド

小学校における入門ガイド

中学校(社会)における入門ガイド

中学校(技術・家庭)における入門ガイド

実践事例

幼稚園における実践事例

小学校における5学年実践事例

中学校における実践事例

高等学校における実践事例

資料

金融教育に関する年間指導計画の例

資料

指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動
1	・身の回りの物に関心を持ち、自分の持ち物を見直したり、身の回りを快適に整えようとしたりする。	○身の回りの物を見直そう ・身の回りが散らかってしまう原因と問題点を考える。
2 3 7	・整理整頓や掃除の必要性を知り、これらの手順を調べて、気持ちの良い住み方を工夫する。	○身の回りをきれいにしよう ・整理整頓の手順や工夫を話し合う。 ・家庭で整理整頓をする計画を立てる。 ・家庭での整理整頓の実践について発表する。 ・汚れ調べをし、掃除の手順を知る。 ・掃除の工夫を調べ、家庭での掃除計画を立てる。 ・家庭での掃除実践について発表し、家庭の中の不用品を考える。
8 3 10	・不用品の活用方法やごみの始末の仕方を調べて、地域や環境に配慮した生活の仕方を工夫する。	○不用品になった物を生かそう ・不用品の活用方法を考え、適切にごみの始末の仕方を知る。 ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）について調べる。 ・ごみを減らすための工夫を考え、家庭に提案する（3R：家庭での実践）。
11	・お金を計画的に使うことの大切さを理解する。 ・目的に合った品物の選び方や買い方ができる。	○品物の買い方を考えよう ・生活を支えるお金について考える。 ・自分の買い物スタイルやおこづかい帳のつけ方を知る。 ・おこづかいゲームを通してお金の上手な使い方を考える。
12		・おこづかい帳をつける計画を立てる。 ・商品の情報を集める方法や買い物の仕方の種類を知る。 ・品物の賢い選び方を知る。 ・支払いの種類とそれぞれの長所・短所を知る。 ・おこづかい帳の実践を発表し、反省や気づきを出し合い、これからのお金の使い方を考える。
13 (本時) 14 3 18		

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
◇物とお金の関係を意識する。	☆次時から学習する整理整頓、掃除、ごみの始末の学習に結びつくようにする。	・教室や特別教室の写真
◇大切なお金で買った物を最後まで大切に使うという視点でも整理整頓の必要性を理解する。	☆児童の実態によっては、机の中や教室だけではなく、家庭科室・図書室やロッカーなどの使い方や出し入れなどについて考えさせるようにする。 ☆教室や住まいの汚れを調べ、その原因を考えさせる。 ☆環境への配慮から、洗剤を使わずに掃除をする工夫も大切であることを知らせる。	・整理整頓の小物 ・掃除用具 ・洗剤見本 ・セロハンテープ ・ルーペ ・ワークシート
◇不用品がなぜあるのかを金銭教育の視点から考える。 ◇金銭教育の視点から不用品の再利用の大切さを考える。	☆リフォーム作品など、実物を提示する。 ☆事前に、地域の実態やごみの分別方法を把握しておく。 ☆住んでいる地域の決まりに従ったごみの始末をすることが大切であることを知らせる。 ☆インターネットでも調べさせる。	・ワークシート ・不用品再利用の見本 ・地域のごみ分別資料
◇金銭の価値について考え、大切に使う方法を考える。 ◇おこづかいゲームを通して、買うことの必要性を検討した上で、見通しをもって計画的にお金を使うことの大切さを体験する。 ◇様々な商品情報の中から正しい判断をすることの大切さを理解する。 ◇購入の方法やお金の支払いについてはいくつかの方法があり、それぞれに長所・短所があることを理解する。 ◇実際におこづかい帳をつけ、自分のお金の使い方について振り返る。	☆本題材は、児童の家庭環境が様々であることを踏まえ、慎重に扱いたい。 ☆自分の持ち物と品物の買い方が関係することにも気づかせる。 ☆具体的な例を通して、おこづかいの使い方を考えさせるために「おこづかいゲーム」を体験させる。 ☆実際に11月はおこづかい帳をつけさせる。その場合、家庭からの理解と協力が得られるように通信などでお願いする。 ☆買い物をするために、いろいろな情報を活用させる。	・ワークシート ・テレビCMやテレビショッピングのビデオ ・新聞広告 ・品質表示マーク ・おこづかいゲームの用具 ・資料 No.1 ・資料 No.3 (→P.88~91) など(「本時の展開」参照) ・「おこづかい帳をつけた後の反省」(児童の記入例) ・資料 No.4 (→P.92)

本時の展開

導入(10分)

展開(20分)

(10分)

まとめ(5分)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> 計画的にお金を使う方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。
<ul style="list-style-type: none"> おこづかいゲームの仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的にお金を使うことを体験する学習として、おこづかいゲームがあることを知り、ゲームの進め方を理解する。
<ul style="list-style-type: none"> 決められた額のおこづかいを、必要性を考えて、計画的に使う。 おこづかい帳のつけ方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おこづかいゲームをする。(詳細はP.88)
<ul style="list-style-type: none"> 自分のお金の使い方を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分のお金の使い方」と「お金の上手な使い方」について考え、発表する。
<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をもとにして、実際におこづかい帳をつけることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おこづかい帳の良さについて考え、11月に実践することを覚える。

【本時の目標】

- ア おこづかいゲームで、お金の上手な使い方を考えようとしている。(関心・意欲・態度)
- イ お金を計画的に使うことの大切さを理解する。(知識・理解)

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
<ul style="list-style-type: none"> ◇見通しをもって、計画的にお金を使う方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分の買い物スタイルやおこづかい帳のつけ方を想起させ、本時の課題への関心をもたせる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ◇計画的にお金を使う方法として、おこづかい帳があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ルールの説明を行い、1か月を見通したお金の使い方を考えることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おこづかいゲームの表とカード
<ul style="list-style-type: none"> ◇おこづかい帳のつけ方を理解する。 ◇おこづかいゲームを通して、見通しをもって計画的にお金を使うことの大切さを覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆11月のカレンダーを使いながらゲームを行うことで、実生活に結びつけやすくする。 ☆計算がしやすいように電卓を使用させる。 ☆お金の使い方やその理由が発表できたらポイントを与え、発表やゲームへの意欲をもたせる。 ☆ゲームの最後には、1か月の支出や残金の計算をさせ、おこづかい帳の正しい使い方を確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用おこづかい帳 ・サイコロ ・電卓 ・本時での板書 資料 No.1 (→P.88) ・本時で使ったワークシート(児童の記入例) 資料 No.2 (→P.90) ・児童から出された考え 資料 No.3 (→P.89)
<ul style="list-style-type: none"> ◇「お金の上手な使い方」とはどうか、みんなで考え意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆おこづかいゲームを行い、自分のお金の使い方を振り返らせることで、お金の上手な使い方について考えさせる。 ☆「お金は、先のことまで考えて計画的に使うことが大切」ということを押さえる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ◇実生活の中でもおこづかい帳をつけ、実践力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆おこづかい帳を使用することの良さに気づかせ、実生活でもおこづかい帳を活用しようという意識をもたせる。 	

実践の記録

○本時で行った「おこづかいゲーム」の説明

資料 No.1 本時での板書



- ①ゲームを始める前に、毎月のおこづかい（全員 1,500 円）のもらい方を3パターン（A、B、C）の中から各自決める。
 A：月初めに 1,500 円もらう（1,500 円を一度にもらう）。
 B：1日、15日、29日に 500 円もらう（1,500 円を3回に分けてもらう）。
 C：1日、8日、15日、22日、29日に 300 円もらう（1,500 円を5回に分けてもらう）。
- ②おこづかい帳（資料2〈P.91〉）の1行目に10月の残金 300 円と2行目に11月初日のおこづかいの金額（A:1,500 円、B:500 円、C:300 円）を記入する。
- ③代表の児童がサイコロを振る。出た目のところに全員が進む。
 ・教師は、1日～30日までのそれぞれの日についてカードを用意しておく（白、黄色、水色のカード）。
 ・教師は、サイコロが止まったところのカードを掲示する。黄色や水色の色画用紙が貼られていないところでは、白色のカードを掲示する。白色カードの場合は、全児童はお金を使う使わないは自由選択である。黄色や水色の色画用紙のところではサイコロが止まったら、教師はその色のカードを掲示する。黄色カードと水色カードの場合は、全児童はカードの指示に従ってお金の出し入れを行う。
 ・サイコロの目に関係なく、ストップ（赤色の色画用紙）のところでは、全児童は必ず止まらなければならない。
- ④児童は、サイコロを振ってお金の出し入れがあるごとに、おこづかい帳（資料2〈P.91〉）に記入する。
- ⑤11月30日に達するまでサイコロを振って、ゲームを行う。終了後は、おこづかい帳に合計を記入し、1か月間のおこづかいの使い方について振り返りを行う。

○成果

本題材では、自分の生活の中での課題を見つけ、授業で学んだことを生かしながら家庭での実践を行うという形で学習を進めてきた。児童は、学習したことを生かしながら、意欲的に家庭での実践を行うことができた。「身の回りをきれいにしよう」では、手順や工夫を知り、計画を立てて、家庭での整理整頓を行った。自分の手で工夫して、整理整頓をしてみることで、すっきりと片づいた時の気持ちの良さを味わった児童が多かった。そして、整理整頓の必要性を実感し、これからも続けたいという気持ちをもつことができた。また、掃除の工夫では、普段やっていること以外にどんな掃除方法があるのかを調べ、家庭で試してみた。生活の知恵を生かした掃除方法で家の中がきれいになり、家族にも好評だった。「不用になったものを生かさう」では、3R（リデュース：ごみを減らす、リユース：繰り返し使う、リサイクル：再利用して資源として生かす）について調べ、その中で自分にできることを実践した。普段、不用になった物はごみにしていたことが多かったが、3Rを実践してみることで、物や環境のことを考えることができた。「品物の買い方を考えよう」では、商品の選び方や、支払いの仕方、お金の上手な使い方などを学習した。今後は、自分でお金を使う機会が増えていくので、買い物をする上で注意すべき点（悪徳商法など）についても学習した。児童にとって、初めて知ったことも多く、今後の生活に役立てていけると思う。

お金の上手な使い方については、1か月間おこづかい帳をつけてみたことで、自分のお金の使い方や気をつける点を改めて知ることができた。また、「自分のお金の使い方が分かる」、「無駄遣いが分かって、お金を考えて使える」、「お金を大事にできるようになる」、「次にお金を使うときに気をつけることが分かる」など、おこづかい帳をつけることの良さについても気づくことができた。1か月間のお金の使い方の反省をした後で、冬休みのお金の使い方のめあてを立て、再びおこづかい帳をつけた。これらの経験を通して、お金の上手な使い方についての意識が高まってきた。

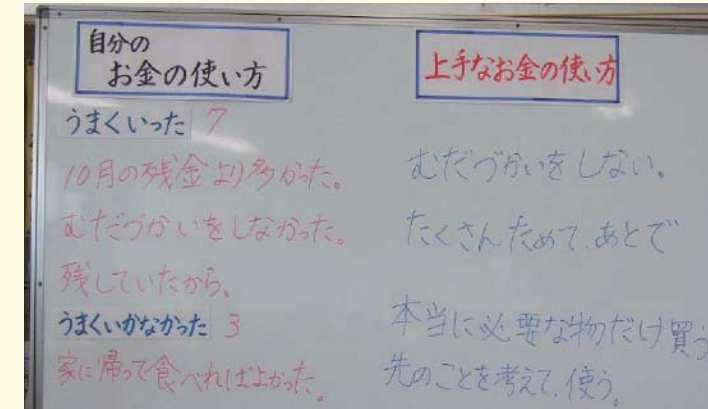
本時の授業の様子



○課題

児童は学習したことを生かしながら、意欲的に家庭での実践を行った。取り組みの直後は、また頑張ろうという意欲をもつことができるが、その気持ちを持続させることが難しい。家庭の協力も得ながら、家庭での実践を続けていく手立てが必要だ。また、お金の上手な使い方を学習したことで、自分のお金の使い方の反省はできたが、それをすぐに改善することは難しい。それには、家庭の協力と、継続した指導が必要である。

資料 No.3 児童から出された考え



教材・資料など

 **資料 No.2** 本時で使ったワークシート

11月の予定

月	火	水	木	金	土	日
			① おこづかい ABC	2	3 唐津くんち	4 唐津くんち
5 ラッキー	6	7 $\text{\yen}350$	⑧ C	9	10 ?	11
12	13 (ストップ) $\text{\yen}150$	14	⑫ B C	16 (ストップ) ラッキー	17 (ストップ) 産業文化祭	18 産業文化祭
19	20 ラッキー	21 $\text{\yen}100$	⑭ C	23 (ストップ) 勤勞感謝の日	24	25 ?
26 (トビ) マンガ発売日	27	28	⑯ B C	30 (ストップ) 友達のたん生日		

＜おこづかいゲーム ポイント＞



＜おこづかいゲームを終わってのふり返り＞

ゲームの中での自分のお金の使い方について	うまかった	(理由) 何回もお金かゝ。たけとお金をおこづかいしなかつたから
あなたが考える上手なお金の使い方とは？	自分がほしいと思ったのはすぐに買おうと思わないで、お金がたまりやすくなるように買う。先のことを考えかえて使う。	

名前 ()

おこづかい帳

日付	ことがら	入金	出金	残金
11/1	10月の残金	300円		300円
11/1	おこづかい	1500円		1800円
11/5	せくしていたお金	100円		1900円
11/7	コンパス		350円	1550円
11/11	ぼんさん		30円	1520円
11/16	けしごむ		150円	1370円
11/19	ゲームソフト		500円	870円
11/26	おこづかい	500円		1370円
11/27	フレープ		200円	1170円
11/28	ジュース		100円	1070円
11/28	返すお金		100円	970円
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
11月の合計		2400円	1430円	970円

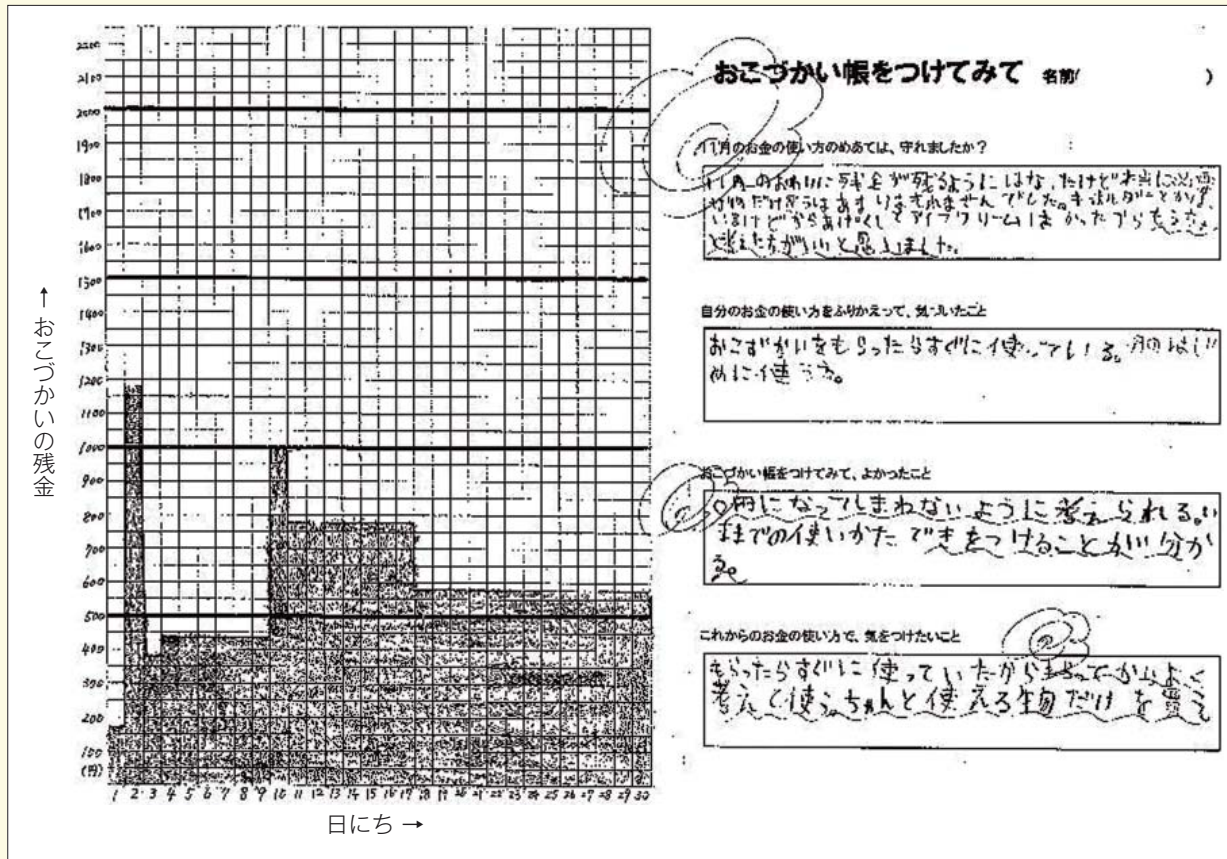
＜1ヶ月が終わって…計算の仕方＞

- ① 残金をそのまま合計に書く。
- ② 入金をたてにたして、合計に書く。
- ③ 出金をたてにたして、合計に書く。
- ④ 入金の合計から出金の合計をひく。それが残金と同じだったら、OK！



資料 No.4

おこづかい帳をつけた後の反省



おこづかい帳をつけてみて 名前()

1ヶ月のお金の使い方のめあては、守れたか？
1ヶ月のお金に与えられたようにお金の使い方をめあては守れなかった。お金の使い方をめあては守れなかった。お金の使い方をめあては守れなかった。お金の使い方をめあては守れなかった。

自分のお金の使い方をふりかえって、気づいたこと
おこづかい帳をつけたら、お金の使い方がわかるようになった。お金の使い方がわかるようになった。お金の使い方がわかるようになった。お金の使い方がわかるようになった。

おこづかい帳をつけてみて、よかったこと
お金の使い方がわかるようになった。お金の使い方がわかるようになった。お金の使い方がわかるようになった。お金の使い方がわかるようになった。

これからのお金の使い方、気をつけたいこと
お金の使い方をめあては守れなかった。お金の使い方をめあては守れなかった。お金の使い方をめあては守れなかった。お金の使い方をめあては守れなかった。

- ※残金170円からスタート
- ※2日には1,000円の入金あり
- ※4日には50円の入金あり
- ※10日には1,000円の入金あり、しかし、420円使った

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校技術家庭における入門ガイド
実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
5学年
中学校における実践事例
高等学校における実践事例
資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料